大学図書館は動き続けているか

COVID-19拡大に直面して

小陳　左和子

(KOJIN, Sawako)

東北大学附属図書館事務部長

2020年5月29日(金)　第9回 4月からの大学等遠隔授業に関する取組状況共有サイバーシンポジウム

図書館の「再始動」とは？

- 休館中は動いていなかったのか？
- ＃図書館は動きつづける

※ 森いづみ長野県立長野図書館長の提唱

saveMLAK 有志による全国図書館の開閉館状況調査

saveMLAK

メインページ
最近の更新
ニュース
MeetUp
プレス
ニュースレター
コミュニティ・ポータル
タスクリスト
井戸端
情報提供広場
編集お困り相談
よくある質問と回答
saveMLAKへの寄付
ヘルプ

ツール
リンク元
関連ページの更新状況
最新の情報に更新
ファイルをアップロード
特別ページ
印刷用バージョン
この版への固定リンク
ページ情報
プロパティを閲覧

コミュニケーション
メーリングリスト
Twitterアカウント
#saveMLAK
Flickr （写真集）

Google Translate
English
한국어
中文

ページ 議論

https://savemlak.jp/wiki/covid-19-survey

- COVID-19対応実施中！ - **COVID-19対応のベストプラクティス共有** ／ **COVID-19による開閉館状況をみんなで可視化**
  - NEW!5/25（月）**「災害への『しなやかな強さ』を持つMLAK機関をつくる」**（第1版）を公開、署名を受付中
  - NEW!**5/21（木）時点での休館状況等の調査結果 【HTML版】（第6回）を公開**（5/14（木）時点【HTML版】／5/6（水）時点【HTML版】（第4回）／4/23（木）時点【HTML版】（第3回）／4/16（木）時点【HTML版】（第2回））／ 次回第7回は**6月4日（木）～6日（土）**に実施します（参加募集）
- 定例イベント予定：6月28日（日）：saveMLAK報告会2020（兼・第111回MeetUp）をオンライン開催
- NEW!saveMLAKニュースレター【PDF】第63号（2020年5月号）を発行しました。
- 安全な開館のために～東北の図書館員からのメッセージ～を公開しています。

covid-19-survey

目次 [非表示]

1 内容
2 目的
3 成果
　3.1 公共図書館
　3.2 国立大学図書館
4 作業の概要
5 参加メンバー募集
6 参加申込・連絡方法

国立大学図書館の開閉館状況調査 (中央館86館)

5月3日以降、週1回調査

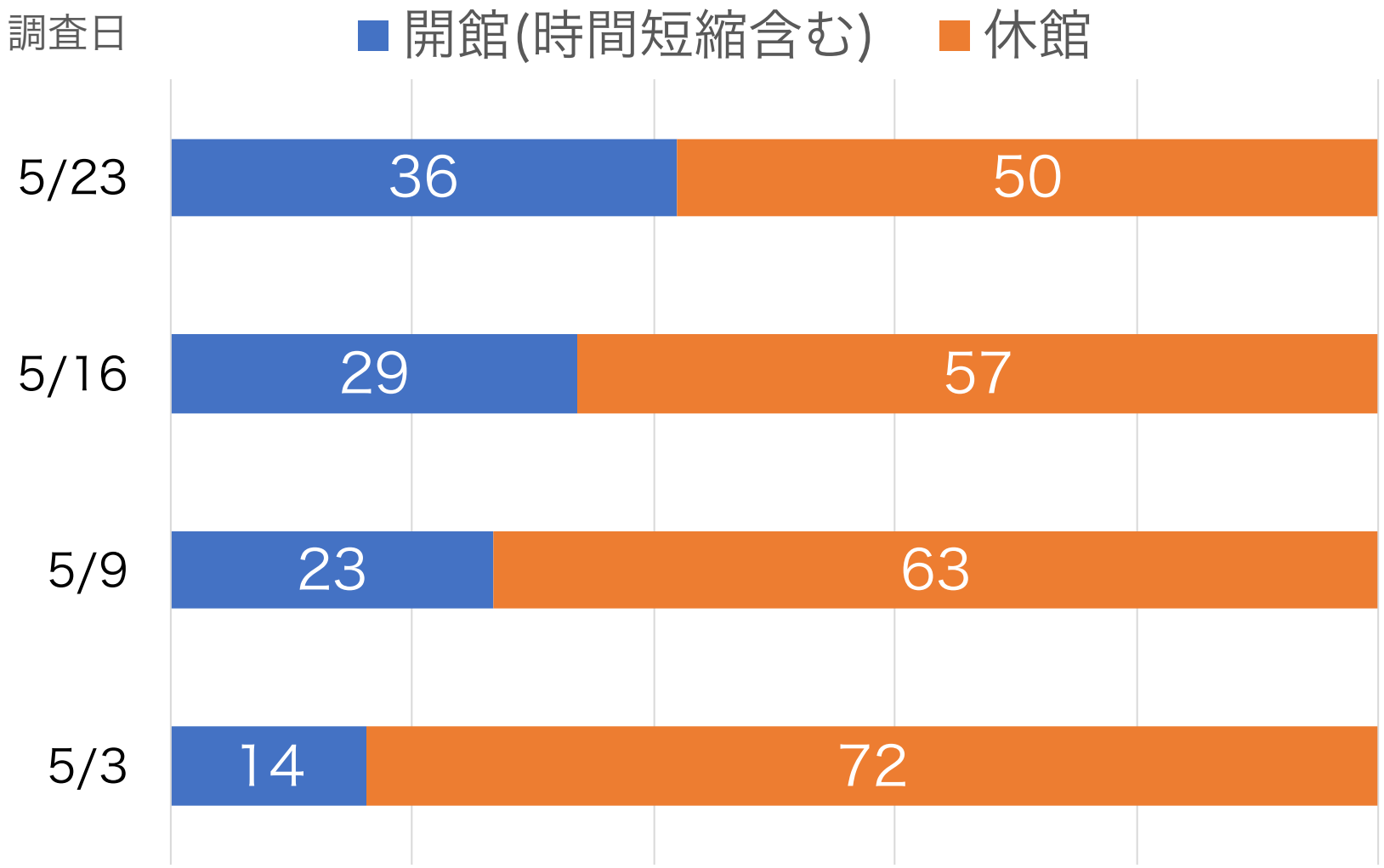
COVID-19_国立大学図書館_20200523更新.xlsx

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	AA	AB	AC	AD	AE	AF	AG	AH
1	2020/05/23調査					対処期間		開館/休館	休館時条件																									開館時条
2								[△:短縮開館]	貸出 [○:可/△:条件付き/×不可]												返却						ILL					レファレンス		開館時間
3	大学名	対象館名	URL	確認日	発信日 (最新)	開始	終了	表記		教職員	院生	学部生	来館	郵送	複写	NDLデジタル化資料	備考 来館条件	備考 郵送料負担	備考 郵送条件	備考 複写条件	期限延長	来館	ポスト	郵送	開館後	備考	教職員	院生	学部生	現物貸借	備考		その他	平日
4	北海道大学	附属図書館本館・	https://w	5/23(土)	5/18(月)	4/18(土)		×	休館	△	△	△	△		△	教職員等か	・教員:オンライ			・本館:公費専用							○	○	○	○				
5	北海道教育大学	附属図書館札幌館	https://s-	5/23(土)	5/19(火)	4/18(土)	5/31(日)	×	臨時休館	○	○	○	△	○	○		メール申込		院生(教職大学院	院生(教職大学院	6/5(金)	△			△	・教職員:事	○	○	○	○	・MyLibrary			
6	室蘭工業大学	附属図書館	https://w	5/23(土)	5/1(金)	5/11(月)	5/29(金)	△	限定利用																									1300-1
7	小樽商科大学	附属図書館	https://lib	5/23(土)	5/1(金)	4/1(水)		×	臨時休館	○	○	×	△		△		・専任教員:要手			専任教員:要手続	6/1(月)		○	○			○	×	×					
8	帯広畜産大学	附属図書館	https://w	5/23(土)		4/1(水)		△																										0900-1
9	旭川医科大学	図書館	https://lib	5/23(土)	5/11(月)	2/26(水)		×	臨時休館	○	○	○	○				教職員:通常通り				5/11(月)												教職員:来館	
10	北見工業大学	図書館	https://w	5/23(土)	5/12(火)	5/7(木)		△																										0900-1
11	弘前大学	附属図書館本館	http://ww	5/23(土)	5/7(木)	5/11(月)		○													5/11(月)		○											
12	岩手大学	図書館	https://w	5/23(土)	5/15(金)	5/7(木)		○																										
13	東北大学	附属図書館本館	http://ww	5/23(土)	5/22(金)	4/13(月)		×	臨時休館	△	○	○	△	△	○		・研究室での研	大学負担(返送自	大学構内への入	・MyLibrary申	6/5(金)						△	×	×		医学分館のみ	メール		
14	宮城教育大学	附属図書館	http://libi	5/23(土)	5/14(木)	5/15(金)		△	段階的な																									1000-1
15	秋田大学	附属図書館	https://w	5/23(土)	5/14(木)	4/27(月)		×	臨時休館	○	×	×	△		○		メール申込			MyLibrary申込					△	キャンパスへ	△	×	×	×				
16	山形大学	小白川図書館	https://w	5/23(土)	5/14(木)	4/9(木)	5/31(日)	×	臨時休館	○	×	×	○		○		教員:事前連絡不			教職	10/13(火)		○											
17	福島大学	附属図書館	https://w	5/23(土)	5/21(木)	4/22(水)		×	臨時休館	△	△	△	○		○		・教員:遠隔授業			・著作権の範囲			○				△	×	×	○	・公費のみ		ラーニングコ	0900-1
18	茨城大学	図書館本館	http://ww	5/23(土)	5/22(金)	4/2(木)		△	授業開始																									
19	筑波大学	附属図書館	https://w	5/23(土)	5/8(金)	4/21(火)		×	臨時休館	△			△		○		・オンライン授			雑誌掲載記事(著	6/10(水)					期限変更	×	×	×					
20	筑波技術大学	附属図書館	https://lib	5/23(土)	5/22(金)	5/25(月)		△	一部制限																									0900-1
21	宇都宮大学	附属図書館	http://ww	5/23(土)	4/17(金)	4/20(月)		×	臨時休館																○		×	×	×					
22	群馬大学	総合情報メディア	https://w	5/23(土)	4/30(木)	4/20(月)		×	臨時休館																									
23	埼玉大学	図書館	http://ww	5/23(土)	5/1(金)	4/9(木)	5/31(日)	×	緊急閉館												6/8(月)													
24	千葉大学	附属図書館	https://w	5/23(土)	5/21(木)	4/8(水)		×	臨時閉館	○	○	○	△		○	事前申込,	・平日1000-			メール申込	5/20(水)		○	○		MyLibraryで	○	○	○		・受渡:平日			
25	東京大学	総合図書館	https://w	5/23(土)	5/15(金)	4/7(火)		×	臨時閉館		△	△		○	○			大学負担(ヤマト	・学位論文(学		6/30(火)			×	○									
26	東京医科歯科大	図書館本館	https://w	5/23(土)	4/21(火)	4/23(木)		×	臨時閉館	○	○	○	○									○	○	○		平日0830-	○	○	○			クイックレ	平日0830-	
27	東京外国語大学	附属図書館	http://ww	5/23(土)	5/7(木)	4/14(火)		×	臨時休館	○	○	○	△	○			Webフォーム申込	大学負担(返送自	Webフォーム申		5/31(日)		○	○			×	×	×					
28	東京学芸大学	附属図書館	http://libi	5/23(土)	5/21(木)	4/9(木)	5/31(日)	×	臨時休館		△	△		○				大学負担(返送自	・学部4年生/大	3件まで	6/8(月)						×	×	×					
29	東京農工大学	図書館	https://w	5/23(土)	5/15(金)		6/14(日)	×	臨時休館	○	○	○		○	○			図書館負担	・フォーム申込		6/17(水)						△	△	△	×	公費のみ,自宅			
30	東京藝術大学	附属図書館	http://ww	5/23(土)	5/15(金)	4/8(水)	5/31(日)	×	臨時休館	○	○	○		○				大学負担(返送自	・メール申込		6/10(水)						×	×	×					
31	東京工業大学	附属図書館	https://w	5/23(土)	5/11(月)	4/8(水)		×	臨時閉館		○	○		○				大学負担(返送自	合計3冊まで(通		7/2(木)		○	○								×		
32	東京海洋大学	附属図書館	http://lib.	5/23(土)	5/18(月)	3/6(金)	5/31(日)	×	臨時閉館	○	○	○	△	○	○		教員:事前来館予	大学負担(臨時閉	学生:MyLibrary	学生:MyLibrary	6/1(月)		○	○		郵送料自己負	○	○	○		MyLibrary申	フォーム		
33	お茶の水女子大	附属図書館	https://w	5/23(土)	4/28(火)	4/8(水)		×	閉館												7/3(金)						×	×	×					
34	電気通信大学	附属図書館	https://w	5/23(土)	4/23(木)	4/8(水)	5/31(日)	×	臨時休館												6/9(火)						×	×	×		少なくとも			
35	一橋大学	附属図書館	https://w	5/23(土)	5/15(金)	4/10(金)	6/14(日)	×	臨時休館	○	○	○	○				MyLibrary/メー			禁貸出資料														
36	横浜国立大学	附属図書館	http://ww	5/23(土)	5/15(金)	4/7(火)	7/1(水)	×	臨時休館	○	○	○	△	○	○			大学負担(返送自	・MyLibrary	・教職員:事前連	7/8(水)			○									教職員:図書	
37	新潟大学	附属図書館	http://ww	5/23(土)	5/21(木)	5/18(月)	5/31(日)	△																										0800-1
38	長岡技術科学大	附属図書館	https://lib	5/23(土)	5/7(木)	5/7(木)		△																										0900-1
39	上越教育大学	附属図書館	http://ww	5/23(土)	5/14(木)	4/21(火)	5/31(日)	△																		個々の事情で								0900-1
40	富山大学	附属図書館	http://ww	5/23(土)	5/20(水)	5/21(木)	5/29(金)	△	段階的な																									0900-1
41	金沢大学	中央図書館	https://lib	5/23(土)	5/20(水)	4/15(水)	6/18(木)	×	臨時休館	△	△	△					・教員:授業用資				6/23(火)						○	○	○	△	貸借:教員のみ			
42	福井大学	総合図書館	https://w	5/23(土)	5/18(月)	5/7(木)	5/31(日)	△																										0900-1
43	山梨大学	附属図書館本館	https://lib	5/23(土)	5/21(木)	5/22(金)		△																										
44	信州大学	附属図書館	https://w	5/23(土)	5/19(火)	5/20(水)		△	段階的に																									

20200523 | 20200516 | 20200509 | 20200503

https://savemlak.jp/wiki/ファイル:COVID-19_国立大学図書館.xlsx
（cc0で公開）

国立大学図書館の開閉館状況 (中央館86館)



5/25 緊急事態宣言 全面解除

5/21 緊急事態宣言 3府県解除

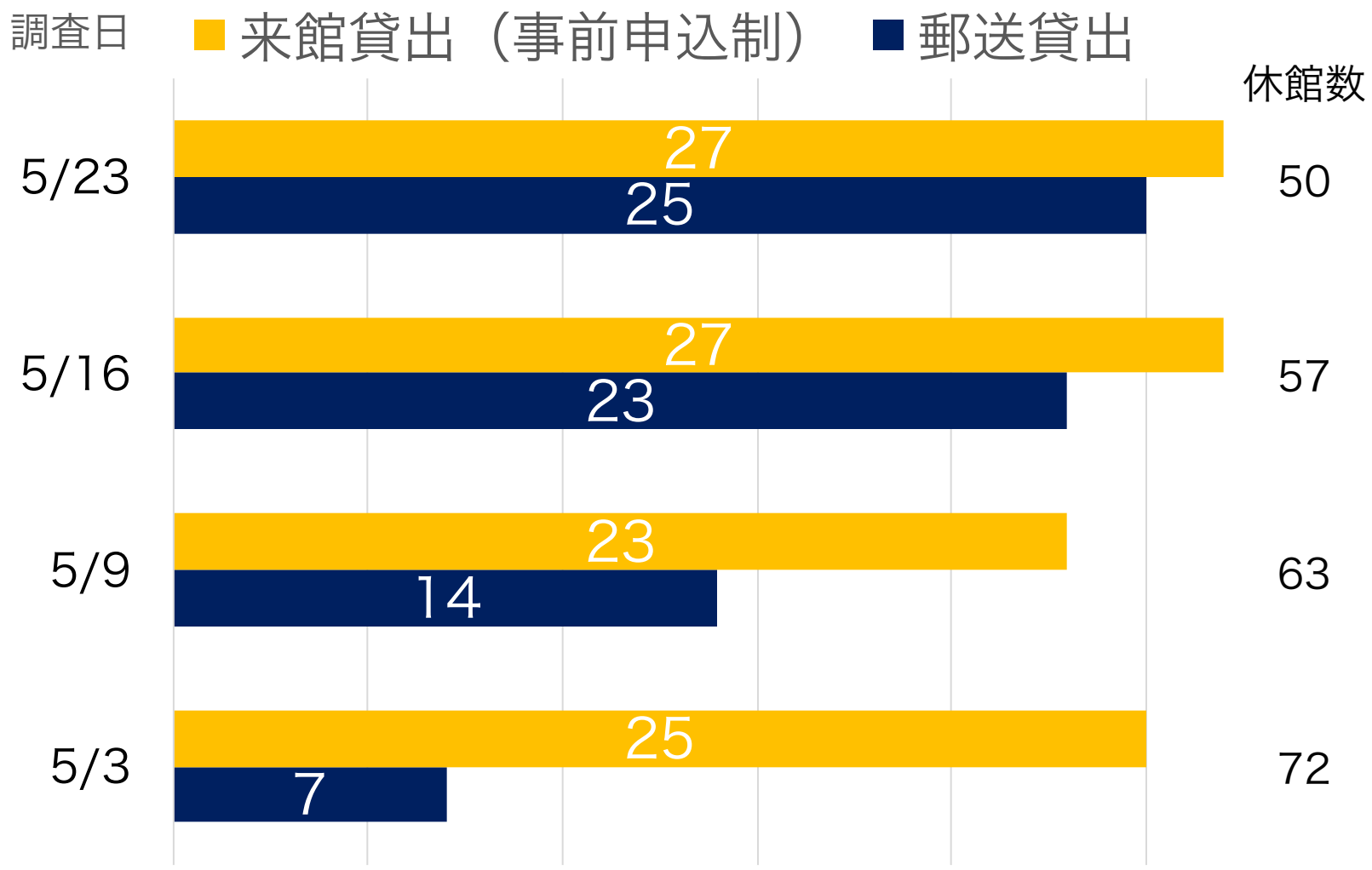
5/14 緊急事態宣言 39県解除

多くの大学で授業開始

5/4 緊急事態宣言 期間延長

4/16 緊急事態宣言 全国拡大

国立大学図書館の蔵書貸出状況 (休館中の館)



5/25 緊急事態宣言 全面解除

5/21 緊急事態宣言 3府県解除

5/14 緊急事態宣言 39県解除

多くの大学で授業開始

5/4 緊急事態宣言 期間延長

4/16 緊急事態宣言 全国拡大

東北大学の行動指針 (BCP) の概要

段階	研究活動	授業	学生の課外活動	学内会議	事務体制	図書館サービス
0 通常						
1 一部制限	感染拡大に最大限配慮し、活動可	オンライン中心	一部許可	対面会議可だがオンライン推奨	感染拡大に最大限配慮し、ほぼ通常	開館時間短縮 座席数50%減
2 制限ー小	現場滞在時間減らし可能な場合は自宅で	オンラインのみ	全面禁止	対面必要最小限原則オンライン	時差出退勤、可能な業務は在宅推奨	休館(貸出等に対応)
3 制限ー中 5/18～	必要最小限の関係者のみ研究室立入可	オンラインのみ	全面禁止	原則オンラインのみ	可能な限り出勤者減（5割程度）	休館(限定的な貸出のみ可) 5/14～
4 制限ー大 4/17～5/17	限定目的のために交替制で立入可	オンラインのみ	全面禁止	オンラインのみ	必要最小限が交替出勤（3割程度）	休館(オンラインアクセスのみ) 4/13～5/13
5 原則禁止	最低限維持のため許可制で一時入室のみ	オンラインのみ	全面禁止	オンラインのみ	緊急業務以外は原則在宅勤務	休館(オンラインアクセスのみ)

今、できていること－1 (2020/5/28現在)

東北大学
Vision 2
研究

キャンパス入構が許可された教員等への蔵書貸出・複写（事前申込・来館引渡し）

5/14(木)～

引渡し場所：エントランス（対応時間帯は常にドアを開放）

【感染防止対策】

- 引き取りに来る入館者が複数重複しないように時間を調整して指定
- 体調不良者（発熱等）は入館禁止
- 入館者は、マスク着用、手指消毒（入口に消毒液を設置）
- 入館者の記録をとる（氏名、入退館時刻、担当図書館職員名）
- 引渡し場所の換気、消毒、フットプリント等によるソーシャルディスタンスの確保
- 対応する図書館職員の健康管理徹底（検温等）、マスク・手袋着用、手指消毒
- 返却された図書は24時間以上別置した上で書棚へ戻す

※ 対策については、本学の感染症対策本部の承認により実施

今、できていること－2 (2020/5/28現在)

東北大学
Vision 1
教育

キャンパス入構が許可されていない学生への蔵書貸出・複写（郵送）

5/20(水)～

「レターパックプラス」（対面配達・追跡サービスあり）で送付

【内容】緊急学生支援の一環として実施

- 送料は大学負担（返却する場合は自己負担）
- 1人2回まで、1回2冊まで
- 図書館オンラインサービス MyLibrary から申込

【感染防止対策】

- 作業する図書館職員の健康管理徹底（検温等）、マスク・手袋着用、手指消毒
- 作業場所の換気、消毒、作業者間のソーシャルディスタンスの確保
- 返却された図書は24時間以上別置した上で書棚へ戻す

※ 対策については、本学の感染症対策本部の承認により実施

今、できていること－3 (2020/5/28現在)

東北大学
Vision 1
教育

全学教育科目「大学生のレポート作成入門～図書館を活用したスタディスキル～」のオンライン授業

【科目の概要】

- 教員と図書館との連携により、全学教育科目として、2004年度から開講
- 教室での講義＋図書館での演習＋レポート作成→教員の添削→リライト→教員のコメント返却

【今期の授業形態】

- 本学全体で 1学期はオンライン授業として実施
- 本科目も、講義は動画配信
- 演習等は、状況を踏まえつつ走りながら考える（担当教員と随時オンライン会議で相談）

※図書館講習会も動画化

大学生のレポート作成入門－図書館を活用したスタディスキル－
カレントトピックス

この授業では、大学生に求められる「学術的」なレポートの作成法や、それに欠かせない情報収集の方法の基礎と図書館活用法、そしてプレゼンテーションの技法を学ぶことができます。
さらに、レポート提出後に、担当する4名の先生方が添削、それをもとにブラッシュアップして、もう一度コメントをもらうことができるという、他の授業にはない特徴があります。
この授業を受講すれば、一生役立つスキルを身につけることができますよ。
※第15週以降の試験やレポート提出はありません。

[担当教員]：［副館長］有光秀行 文学研究科教授
酒井聡樹 生命科学研究科准教授
渡辺正夫 生命科学研究科教授
山田仁史 文学研究科准教授
串本剛 高度教養教育・学生支援機構准教授
[講時・曜日]：第1/3/5/7セメスター、火曜5限
[対象学部]：全学部

参考書：学務審議会／高度教養教育・学生支援機構（2017）『東北大学レポート指南書』第2版
酒井聡樹（2017）『これからレポート・卒論を書く若者のために』第2版　共立出版
齋藤忠夫編著(2011)『農学・生命科学のための学術情報リテラシー』朝倉書店

授業予定　曜日・講時：1セメスター　火曜5限（16:20～17:50）

4/21	動画配信	ガイダンス
4/28	動画配信	レポート作成法　<酒井聡樹先生>
5/12	動画配信	序論の書き方　<酒井聡樹先生>
5/19	動画配信	本論の書き方　<酒井聡樹先生>
5/26	動画配信	自然科学における論文作成の実際　<渡辺正夫先生>
6/2	動画配信	自然科学における文献検索と引用　<渡辺正夫先生>
6/9	場所未定	人文社会科学における論文作成の実際　<山田仁史先生>
6/16	場所未定	人文社会科学における文献検索と引用　<山田仁史先生> ※文献リストの提出【6/18（木）】
6/23	場所未定	文献リストの確認、アウトライン作成　<串本剛先生>　※アウトラインの提出【6/25（木）】
6/30	場所未定	アウトラインの確認、初稿作成要領　<串本剛先生>

今、内部で進めていること – 1

東北大学 Vision 1 **教育**

東北大学 Vision 2 **研究**

● 電子ブックの整備強化

日本の学術書の電子化の低さが課題

東北大学 Vision 1 **教育**

● 授業用参考文献の電子提供（の準備）

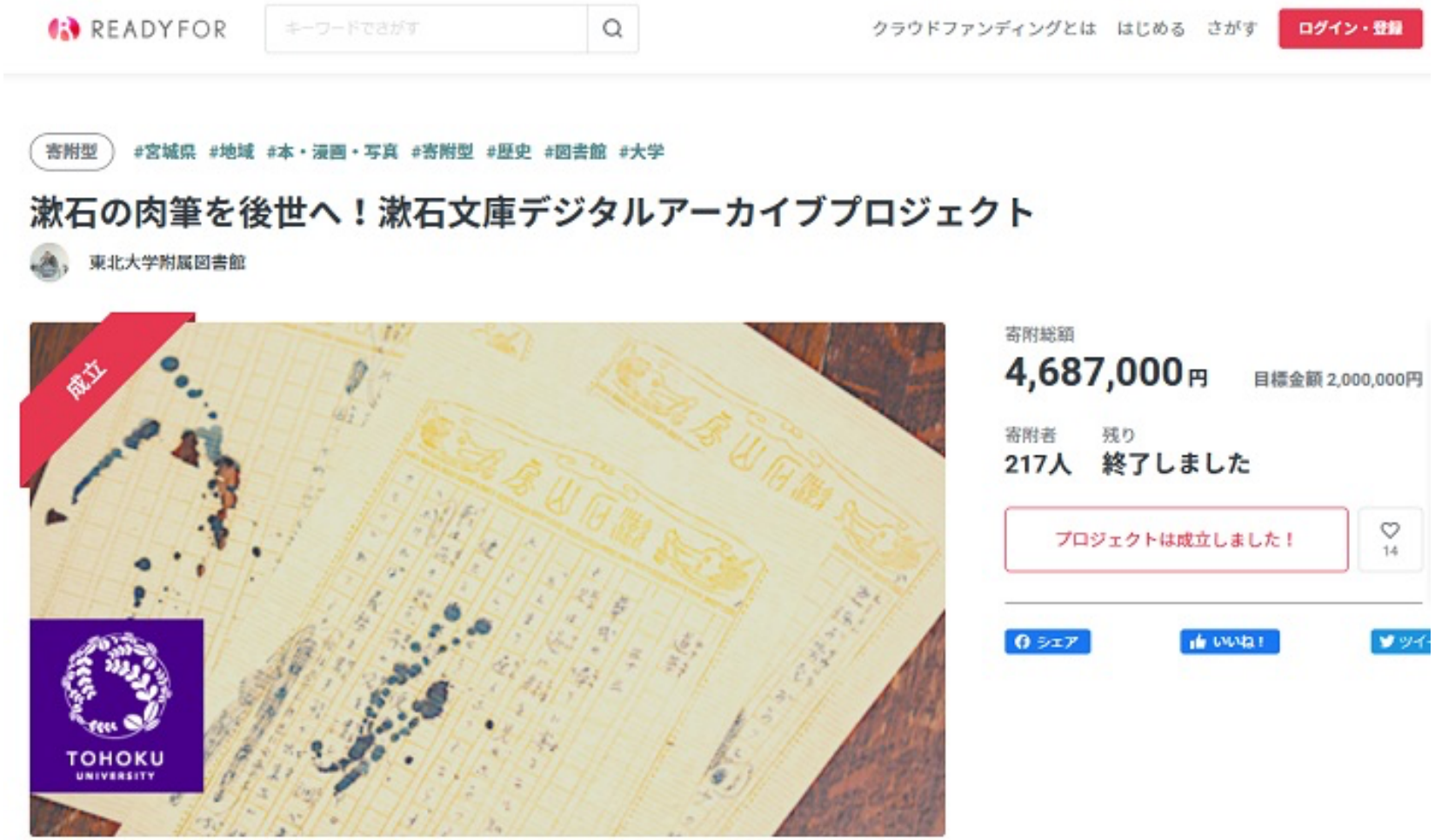
改正著作権法第35条運用指針（令和2(2020)年度版）に基づく

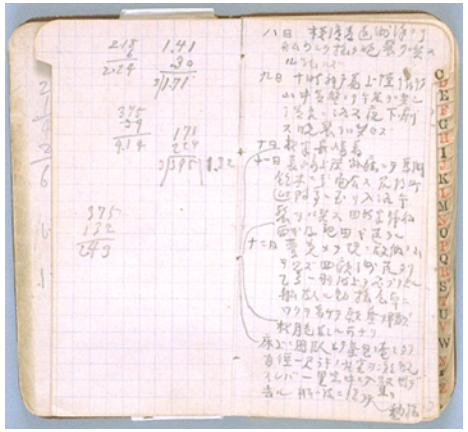
今、内部で進めていること – 2

東北大学
Vision 3
社会共創

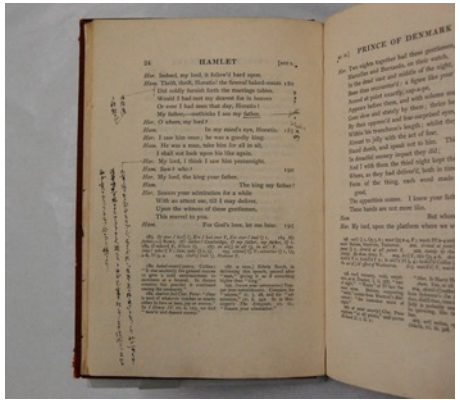
漱石文庫デジタルアーカイブプロジェクト

2019年のクラウドファンディング支援により、構築作業中





自筆資料（原稿, 日記, 書簡など）



書き込みのある蔵書

今、内部で進めていること – 3

東北大学
Vision 4
経営革新

事務手続き、業務環境の見直し

「東北大学オンライン事務化宣言」に沿って

東北大学
TOHOKU UNIVERSITY
Press Release

東北大学オンライン事務化宣言 －New Normal時代でのワークスタイルの変革－

2020年5月28日 11:00 | プレスリリース・研究成果

【発表のポイント】

- 2020年6月1日、東北大学はオンライン事務化を宣言いたします。
- ＜窓口フリー＞
  学生・教職員の各種手続や相談は、対面を重視したオンライン化を拡充させ、これまで以上に学生一人ひとりへのきめ細やかなサービスを提供します。
- ＜印鑑フリー＞
  押印を廃止し各種手続きの完全オンライン化を進め、同時に電子決裁システムを導入し業務の効率性も向上させます。
- ＜働き場所フリー＞
  職場と同じ環境で仕事ができるテレワーク環境のもとで、職員一人ひとりの多様なライフスタイルに寄り添った働き方を一層加速化させます。

今、内部で進めていること – 4

東北大学
Vision 4
経営革新

附属図書館将来構想の検討

「東北大学附属図書館ビジョン2030」の策定を計画

「東北大学ビジョン2030」2018年 策定

4つのVision：教育／研究／社会との共創／経営革新

更新を計画中

New Normalを先導する大学への変革

**東北大学附属図書館
ビジョン2030**

図書館が実現すべきこと、
そのための機能の高度化、
それを踏まえた組織体制
の見直しなどを明確化

ウィズ・コロナ ／ ポスト・コロナを見据えたものに

ウィズ・コロナ／ポスト・コロナを見据えて

図書系職員採用に向けて（館長メッセージ）

附属図書館長から、図書館職員を目指すあなたへ

東北大学附属図書館長
大隅　典子

2020年の春、世界中で新型コロナウイルス感染症への対応に苦慮している今、就職を考えているみなさんは、 大変な時期に就職活動しなければならなくなったと不安を抱えられているかもしれません。

しかし、こういう時期だからこそ、大学図書館もwithコロナ・postコロナの新たな時代にふさわしいギアチェンジが必要であり、そのために果敢に挑戦する人材を求めています。

このため、東北大学附属図書館では、特に次のような諸課題に一緒に取り組む職員を募集します。

- 大学の研究活動を支援するためのオープンサイエンスの推進にむけた方策の検討
- 国内及び海外からの学生や教職員と協働した国際共修への寄与
- 古典資料を始めとした知のデジタルアーカイブ化および活用のための発信

現在の大学図書館が抱える懸案は、どれもひとつの図書館だけでは解決が難しいものばかりです。 国内においては国立・公立・私立の壁を超えて懸案ごとの検討チームを立ち上げ、海外の図書館職員・研究者とも協力しながら課題の解決に立ち向かっています。

これから就職されるみなさんが活躍する時代には、いっそう幅広い分野の人々とともに働き、他業界の事例も踏まえながら、これまでになかった学習・教育研究環境を整備することになるでしょう。

また、大学図書館職員は、図書館員である前に大学職員でもあります。指定国立大学法人として世界に伍する最先端の研究を推進している東北大学の附属図書館として、 図書館業務の枠に留まることなく、学生や研究者たちに望まれている支援に柔軟に対応し、新たなアイデアを持って一緒に殻を破り続けていきましょう。

さあ、貴方が大学で学んだ知識と研究メソッドを、図書館および大学の運営に生かしてみませんか？

2020年5月

http://www.library.tohoku.ac.jp/about/director/20200522.html

saveMLAKからのメッセージ (2020/5/25)

［呼びかけ］「災害への『しなやかな強さ』を持つMLAK機関をつくる」 [編集]

https://savemlak.jp/wiki/CallForResilience

前文 [編集]

- 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大は私たちの社会のあり方を大きく変えています。その変化は図書館、美術館・博物館、公民館のようなMLAK機関にも及んでいます。感染拡大初期には、多くのMLAK機関が来館利用する施設としては休館することになりました。もちろん、人の命に優先するものはありません。しかし、人の命を守るためには情報・知識が必要です。こうした情報・知識と私たちを結ぶ知的インフラの1つとして、MLAK機関には重要な役割があります。この重要な役割をMLAK機関が果たしていくための課題と可能性を一緒に考えていくための論点を整理しました。ぜひ、私たちと共に悩み、共に考え、共に行動していきませんか。

論点整理（本文） [編集]

1. 今回、知的インフラを支えるMLAK機関の多くが、施設としての休館を余儀なくされました。その状況がまだ続いている機関もありますし、今後についても予断を許しません。そして、このような事態はどのような災害でも起こることであり、実際に起こってきました。
2. 被害が拡大する状況にある場合、MLAK機関が施設として休館することは致し方ないでしょう。訪れる人々（利用者）や働く人々（提供者）の安心と安全が常に第一です。
3. ただし、誰にとってもこのままでいいわけではないでしょう。現実的に次のような課題が出ています。
    1. **研究活動の停滞・科学政策への影響**：資料のデジタル化が進んでいない分野では調査・研究が進められません。学術研究が進展しないということは、被害への対策や回復の観点からも非常に重大な損失です。
    2. **将来世代の人生への影響**：MLAK機関が所蔵する資料の利用が前提となっている大学教育に大きく影響しています。また小中高段階の学校の休校・閉鎖に伴い、学校図書館が利用できないことは児童・生徒のまなびに直接的な影響を及ぼしています。
    3. **市民の知的インフラの欠如**：MLAK機関が使えないことは、乳幼児からシニアまで全世代の市民生活にも弊害があります。特に経済情勢が厳しくなるなか無料で利用できる公共図書館は、生きるためのセーフティーネットの1つです。
4. 以上の課題を解決していくためには、少なくとも次の2つの観点からの、さらに言えば次の3つの観点からの議論と行動が必要です。
    1. **安全な来館利用の再開**：被害拡大に歯止めがかかってくる段階において、MLAK機関の施設としての再開を図りましょう。その際、利用者と提供者の安心と安全を第一とし、再開の是非や方法は科学的かつ客観的に判断していきましょう。
    2. **非来館利用の促進**：同時に情報・知識のデジタル化・ウェブ化・オープンアクセス化をさらに進めましょう。MLAK機関を来館・非来館のいずれでも、常に同等の利用が可能な機関へと進化させていきましょう。
    3. **2分法を超える融合**：来館・非来館という2分法ではなく、実空間と情報空間が融合した未来のMLAK機関の理想を追求していきましょう。
5. 私たちの知的インフラを充実させていくために、情報・知識やMLAK機関の利用者・提供者・生産者が一体となって議論し行動していきましょう。充実した知的インフラを創りあげていくことは、さまざまな災害に対する私たちの社会の「しなやかな強さ」（レジリエンス）となってくるはずです。

東北大学附属図書館長からのメッセージ (2020/4/1)

附属図書館長 令和2年度初頭挨拶

(English ver. is here.)

今、考えるべき新たな附属図書館の姿

令和の２年度目が始まりました。

9年前の東日本大震災の折、東北大学は津波の影響はありませんでしたが、震度６の揺れにより附属図書館も甚大な被害を蒙りました。 当時、私は研究室で大学院生とディスカッション中で、急いでテーブルの下に隠れました。たった２分ほどの時間が気の遠くなるくらい長く不安に感じたことを思い出します。 復旧作業を粛々と進めていた中、約１ヶ月弱後に、再度、M7.2の余震に見舞われました。ちょうど、シジフォスの岩のエピソードのような徒労感でした。

そんな中でも季節は動き、桜の木々は花を付けました。花は人に見られるために咲いているわけではありませんが、見る人のこころを和ませると、しみじみ思いました。 春になって桜が咲く、その自然の摂理の中で、生かされていることの有り難さを感じました。

今年は残念ながら、新型コロナウイルス感染症蔓延により、お花見は自粛。桜は宴会の口実ではなく、一人ひとりが楽しむものとなりました。 ある意味、本来のあるべき姿なのかもしれません。

四季折々の行事やルーチンによって成り立っている私たちの生活に突然やってきたコロナ禍は、いわば「泰平の眠りを覚ます蒸気船」のように思われます。 平成の30年の間、世界の変化の中、日本はいわば戦後の成功体験にあぐらをかき、惰眠をむさぼってきました。 今回の新型コロナウイルスは黒船として、今の日本を変えるきっかけとなっているように感じます。

例えば、すでに今世紀の初頭から世界で浸透していたインターネットの利活用に関して、日本は大きく遅れを取っていましたが、 今回、一斉休校や外出制限の対応として遠隔授業やテレワークを推進することが加速されています。 本学でも、ウェブ会議やペーパーレス会議への移行や、講義の録画対応等を進めています。制度として定着し、働き方の改革にもつながってほしいと思います。

附属図書館も、新たな時代にふさわしいギアチェンジが必要です。粘土板から紙、そしてディジタルへと、情報や知識の媒体は変化してきました。 知をアーカイブし、学びを創発する場としての図書館のあるべき姿はどのようなものか、真剣に模索する好機が訪れたと感じます。

前例の無いことに挑戦するときに必要なのは想像力です。そして、少々の失敗を許す包容力です。 一人ひとりが、今、何ができるか、どうしたら社会を良くできるか、考えながら前に進んでいきましょう！

令和2年4月
東北大学附属図書館長
大隅　典子

http://www.library.tohoku.ac.jp/about/director/20200401.html

「再始動」とは？

- 図書館の行動変容

- 図書館だけでなく、
  特に日本の出版社、
  データベースベンダー、
  学協会も

New Normal へ。